

闘病中の妻へ

吉開欽一

東京都・六一・会社役員

「合格オメデトウ!!」。君のはずんだ電話の声は忘れられない。そうあれは僕が還暦を目前に挑戦した運転免許合格の日だったネ。職場結婚以来三五年、君はサラリーマン家庭をよく守ってくれたネ。心から感謝しているヨ。すこぶる健康だった君も二児を育てあげたところで、よもやの難病、リュウマチを患い身障者と認定され、特にここ数年は両手の自由を失いつつあり関節が痛み通院や買い物に支障をきたしているにもかかわらず、笑顔を忘れない闘病には頭がさがる思いだヨ。或る日、僕は運転免許がないのに僕の運転で君とドライブしている夢を見たのだ。お酒が好きで運転は他人事と意地を張っていた僕がだヨ。君の病魔に対する真摯な姿を見ていて、「ヨーシ」免許を取って少しでも君の負担を軽くしてやりたい、そしてこれまでの苦勞をかけた償いに「変身」を決意したんだヨ。自動車教習所への出席も幾度か挫折しかかったが、君を乗せて走る光景を眼に浮べ夢を実現しようと奮起し、そして折々の君の励ましで

勇猛心が湧いたネ。親切な教習指導員にも恵まれ今年一月、六〇歳と三カ月で免許証を手にした時、それは嬉しかったネ。感激のあまり無我夢中で君に電話していたヨ。運転歴一〇カ月の若葉マークの初心者だが今では助手席にいる君の笑顔は交通標識の一つであり安全運転の糧になっているヨ。それにしても君も同乗していて気づいたと云ったが、僕も以前は「歩行者優先」と云うことにはあまり関心がわかなかったが、現在は如何にして歩行者の安全を守らなくてはならないかが分かったヨ。それにはみんながゆずり合いの心掛けて交通マナーを守ることにつきるネ。酷な表現だが君の病気がなかったら僕は生涯運転することはなかったと思うヨ。本当に有難う。

還暦に夢にまで見た免許とり

君の笑顔でハンドルさばき

今の心境を一句添えて……。これからも病に負けないで頑張ってネ。

闘病中の愛する君へ

還暦を迎えた僕より